

小菅ヶ谷連合婦人部

- 目的：地域住民との情報交換を行い支援の輪を
拡げる
役員数：13名（町内会自治会が推薦）
定例会：年3～4回



ほっかほっかタイムの調理手洗い

【活動内容】

小菅ヶ谷地域ケアプラザ主催の「ほっかほっかタイム」（おひとり暮らしの高齢者対象）の調理ボランティアを月1回行い、「いきいき小菅ヶ谷」、「子ども会」、「敬老の集い」など町内会自治会の行事に参加協力しています。

「役員研修会」、「見学会」、「男性料理教室」なども行っています。

【活動を通じて気づいたこと】

「ほっかほっかタイム」では、参加している高齢者の方から元気をお願いしています。毎月手作りのお菓子を提供し、特に男性参加者から喜ばれています。役員の高齢化、役員を選出されていない町内会自治会があるのが悩みです。

消費生活推進員の会

- 目的：消費者トラブルを未然に防ぎ、地域住民
の安全で快適な消費生活をサポートする
役員数と任期：15名（町内会自治会が推薦し、市長が
委嘱）任期2年
定例会：年12回



出前講座の様子

【活動内容】

消費生活推進員の「消費者力」を高めるための研修を受講し、これにより得られた知識を地域に広めるために、出前講座、講演会の開催、地域での見守り活動を実施しています。

【活動を通じて気づいたこと】

ほぼ交流のない地域で「出前講座」を実施し、交流を深めて喜ばれた時などは、大変な思いをしても報われた気がします。また、役員となって初めて知ることが多く、今まで他人事と思って生活していたことを実感しました。

【今後連携をしたい団体】

役割に共通目的を持つ団体、防犯や環境関連の団体

小菅ヶ谷つながるプラン ニュース

第7号

発行日：令和2年2月23日

発行元：第3期小菅ヶ谷つながるプラン推進会議

発行責任者：田中 健次

事務局：小菅ヶ谷地域ケアプラザ

小菅ヶ谷つながるプラン研修会

「地域の暮らしとつながる力」

～子どもと共に、ゆっくり作るふるさと～

講師：加藤彰彦氏（沖縄大学名誉教授）

令和元年11月17日（日）、小春日和の穏やかな日に、小菅ヶ谷地域ケアプラザのテイルームで研修会が行われました。参加者は、小菅ヶ谷以外にお住まいの方も含め51名でした。加藤氏は、横浜市や沖縄県で、地域の諸問題や子どもに関わるいろいろな仕事をされ、現在栄区に戻ってこられました。ご自身の様々な体験をお話いただき、地域でつながることの大切さを教えていただきました。

「ふるさと」とは、子ども時代を過ごした場所を指していますが、現在住んでいる小菅ヶ谷もまた間違いなく私たちの「ふるさと」です。小菅ヶ谷は、今の子どもたちに将来胸を張って「ふるさと」と呼んでもらえるでしょうか？ 恵まれた環境の中で豊かな暮らしがあり、たくさん仲間と囲まれた「ふるさと 小菅ヶ谷」をつくるにはどうしたらいいのでしょうか。

人は、一人では生きていきません。地域でつながる仲間が必要です。つながることの第一歩は、「聴く」ことです。（聴くとは、耳で聞く、目で聞く、心で聞くこと。）みんなが聴く力を持てたら素晴らしいですね。

また、つながるための居場所が1か所ではないことも教えていただきました。いろんなところに居場所をつくり、自分に合った場所でそれぞれが主人公になり、生き生きと過ごせたらいいのではないのでしょうか。その積み重ねが、「ふるさと 小菅ヶ谷」をつくり上げていくのだと思います。

さらに、日本の教育の問題点や課題についても教えていただきました。社会全体を変えていくことはできなくても、身近な人から、小さなことから始めたらどうでしょう。地域には人がいて、一人ひとりが地域の宝物であるという加藤氏の言葉に、とても勇気づけられました。



環境事業推進委員連絡協議会

- 目的：ヨコハマ3R夢プランの推進
役員数と任期：18人（町内会自治会が推薦し、市長が
委嘱）任期2年
定例会：年12回



見学会にて

【活動内容】

- 町内会自治会と連携した、ごみ減量による脱温暖化に向けた3R行動の推進
- 町内会自治会と連携した地域の清潔保持
- 環境（資源循環）施策への参加

具体的には①食品ロス削減②生ゴミの水切り及び剪定枝の乾燥促進③マイ箸・マイボトル・マイバックの利用促進④キーロや元気野菜プロジェクトによる生ごみの堆肥化や本郷台駅前ポイ捨て防止キャンペーン、区民祭りのPRなどで頑張っています。

【活動を通じて気づいたこと】

収集ルールが守られずマナーが悪い集積場があります。それでも自分たちの住んでいる町の環境が少しでも改善されるよう、推進委員一同頑張っています。

次号（第8号）では、パート2として「防犯指導員」「小菅ヶ谷消防第3分団第2班」「けやきロード本郷台駅前商店会」「本郷台駅前アーケード商店街協同組合」「小菅ヶ谷地区社会福祉協議会」の5団体を掲載いたします。ご期待ください。

編集後記

第3期小菅ヶ谷つながるプランは間もなく最終年度の5年めに入ります。

第7号では、加藤彰彦氏を招いて開催した「地域の暮らしとつながる力～子どもと共に、ゆっくり作るふるさと～」の講演内容の一部を掲載いたしました。人には誰でも「ふるさと」があります。この小菅ヶ谷に住んでいる子供たちが、将来胸を張って「ふるさと小菅ヶ谷」と呼んでくれるよう、加藤先生から大切なことを学びました。

2～4面は、「各種団体との交流会」で各団体から発表された活動内容や運営の様子について掲載いたしました。これを機会に、地域の皆様と各種団体とのつながりがさらに深まり、「私もやってみよう」と感じていただければ幸いです。

お問い合わせ先

小菅ヶ谷つながるプラン事務局 小菅ヶ谷地域ケアプラザ
電話 045-896-0471

小菅ヶ谷つながるプラン推進会議について 代表 田中健次

「小菅ヶ谷つながるプラン」については、ご存じのことと思いますが、再度お知らせいたします。お互いに安心して健やかに暮らしていける地域社会の実現を目指す活動です。地域住民、公的機関などが地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進める計画です。この計画は、社会福祉法第107条に基づく取り組みです。横浜市の計画、栄区の計画のもとに、各連合体ごとに地区別計画を具体的に進めています。小菅ヶ谷連合では、「小菅ヶ谷つながるプラン」として、

第3期計画を推進中であります。つながるプランニュース等でお知らせしている通り、様々な活動は各種組織やボランティアの皆様協力によって進められています。

令和3年度からは、第4期計画がスタートしますが、これまでの計画の継続推進と併せて、新たな計画も模索してまいりますので、皆様お気づきの問題点など、ご意見をお待ちしております。

お問い合わせ先：小菅ヶ谷つながるプラン事務局
小菅ヶ谷地域ケアプラザ 045-896-0471

小菅ヶ谷地区 各種団体の紹介 パート1

地域のつながりをさらに深めるため、小菅ヶ谷地区「各種団体との交流会」を令和元年10月6日(月)に開催しました!

小菅ヶ谷つながるプランでは、「町内会自治会訪問・交流会」、「ボランティア団体訪問・交流会」に続き、小菅ヶ谷地区で活動している15の団体の活動内容を小菅ヶ谷地区の皆様にご覧いただき「各種団体との交流会」を開催いたしました。

当日発表された各種団体の活動内容や運営の概要について今号から2回にわたって掲載しますので、是非ご覧ください。これを契機に町内会・自治会や地域の皆様と各種団体とのつながりを一層深めていければと思います。各種団体へのお問い合わせは下記窓口へ。

小菅ヶ谷つながるプラン事務局 小菅ヶ谷地域ケアプラザ
電話 045-896-0471

スポーツ推進委員連絡協議会

目的：町内会自治会を中心とした各地域においてスポーツ・レクリエーションの普及促進
役員数と任期：14名(町内会自治会が推薦し、市長が委嘱)任期2年
定例会：年12回



栄区ロードレース大会

【活動内容】

新任者研修会や救命救急講習、さわやかスポーツ講習などに参加し、スポーツ推進員としての活動を体得しています。

また、市内で行われる「横浜マラソン」や「横浜トライアスロン」、各種イベントなどの運営に協力。小菅ヶ谷地区では連合の「ソフトボール大会」や「小菅ヶ谷レクリエーション」の運営に携わり、地区社協や町内会、子ども会行事などにも協力しています。

【活動を通じて気づいたこと】

それぞれの活動を全て委員が力を合わせてやっており、その結果スムーズに運営されていると思います。

【今後連携をしたい団体】

依頼・要請があればどこでも

民生委員児童委員協議会

目的：地域住民の身近な相談相手、見守り役
役員数と任期：25名(町内会自治会が推薦し、厚生労働大臣が委嘱)任期3年
定例会：年12回



オールキャスト

【活動内容】

行政、自治会の協力者として、福祉サービスが受けられるよう、区役所などの関係機関との「つなぎ役」、また住民や地域の代弁者として提言をします。

月1回、小菅ヶ谷地区社協の配食活動「いちご会」にてお弁当を作り、おひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認を兼ねてお弁当をお届けしています。

子どもや子育て家庭を支援するために、小・中学校と連携した児童・生徒の見守り、児童虐待の早期発見に向けた見守りや啓発活動、地域の子育て世代や関係機関への子育てに関する情報提供などを行っています。

【活動を通じて気づいたこと】

地域住民が抱える課題が解決し、感謝された時にやりがいを感じます。民生委員の活動内容が一般に理解されていないため、知名度を上げたいと考えています。

保健活動推進委員会

目的：地域住民の健康づくりの推進役
役員数と任期：22名(町内会自治会が推薦し、市長が委嘱)任期2年
定例会：年5回



健康測定

【活動内容】

町内会自治会や地域組織と連携し、住民の健康づくりに取り組んでいます。まず推進員自身が自分自身の健康づくりを実践するため、ストレッチや応急措置、介護、口腔ケアなどを学んでいます。

区祭り、小菅ヶ谷レクリエーション、ひだまり、いたち祭りなどの会場では、地域住民を対象に「健康測定会」を開催。また、「いきいき小菅ヶ谷」の運営に参加し、地域住民の健康づくり支援を行っています。さらに区役所と連携し「横浜ウォーキングポイント事業」への参加促進、「特定健診」「がん検診」の普及啓発に取り組んでいます。

【活動を通じて気づいたこと】

活動を通じて自分自身が健康づくりの機会を得られて良かったです。区民のがん検診、特定健診の受診率の向上が課題です。

【今後連携をしたい団体】小・中学校、ケアプラザ

子ども会連絡協議会

目的：異年齢交流及び小菅ヶ谷地域の交流、地域の活性化のための活動
役員数と任期：2名 任期2年
定例会：年12回



ドッチビー大会

【活動内容】

スポーツ大会(ドッチビー)を開催し、地域内の交流を図っています。また、栄区子ども会連絡協議会の行事や映画会、料理教室、バーベキュー大会、研修会、書道展、KYT(危険予知トレーニング)、収穫体験等に参加しています。地域内の他の団体との協力事業も行っていきます。

【活動を通じて気づいたこと】

子どもたちの笑顔にやりがいを感じています。役員として参加してくれる人が少ないこと、活動費が足りないことが課題です。

【現在連携をしている団体】

青少年指導員、スポーツ推進委員、婦人部など

小菅ヶ谷地区シニア連合

目的：健康 友愛 奉仕
役員数と任期：地区シニア連合会長1名
役員14名(単位クラブ会長12名
友愛・女性各1名)任期1年
会員数：12単位クラブ850名
定例会：年10回



お花見(春日神社にて)

【活動内容】

定例会で、栄区シニア連からの連絡事項を単位クラブに伝達し、統一を図っています。各単位クラブの活動報告を共有し、地区シニア活動の参考としています。活動はスポーツ・講習会・工場見学等を実施しています。各単位クラブではそれぞれ地域の実状に合った活動を行っています。

【活動を通じて気づいたこと】

新入会員の参加をいつでもお待ちしております。シニアクラブは地域から支えられるだけでなく、地域の担い手の一人として積極的に活動したいです。

交通安全母の会

目的：子どもと高齢者に対する交通安全の啓発
活動及び母親自身の交通安全の意識高揚
役員数と任期：11名 任期1年
定例会：年12回



自転車マナーアップ教室

【活動内容】

年4回の交通安全通問のお手伝い、また11月に栄警察・栄交通安全協会の協力の下、自転車のマナーアップ教室を自主開催しています。

【活動を通じて気づいたこと】

イベント等で子どもたちの笑顔を見るのがこの上ない喜びです。役員になって自転車、自動車、歩行者…いろいろルールやマナーがあることを知りました。行事の人集めに苦労しているので、「イベントに人を集める方法」の研修を受けたいです。

【今後連携をしたい団体】

防犯指導員や子ども会と連携したい。(現在、栄交通安全母の会と連携)